

フルハッチ!

最新車輛ラインナップ

コナミ

DigiQ TRAIN
デジタルトレイン™

text:RMM/photo:梅木隆秀 (特記以外)

取材協力: コナミ株式会社

幅広い車種ラインナップで人気のコナミ・マイクロ・デジQトレインだが、特に国鉄全盛期の名車種が次々と登場することに快航を叫んでいるファンも多いのではないだろうか。

第4弾車種ラインナップの目玉はまず何と言っても485系ポイント車だろう。実車は今年6月に定期特急運用から離脱することが決定し、引退も間近と噂される昨今、まさにタイムリーな登場の仕方である。先頭車は編成両端共にポイント車だが、中間車は後期型の特徴を備えている。具体的にはモハ484は基本型クラー付の200番代車、対向なるモハ485は同

▲485系ポイントとキハ82系の組み合わせ。共に国鉄特急用の立て役者として全国を駆け回った名機だ。

時期に製造されたユニットクラー付の車種 (97番以降) がプロトタイプということになる。もちろんそこまで云々しても…という向きもあるかもしれない。が、デジQトレインはこんな細かい観察にちゃんと応えてくれる造作を誇るのだ。肝心のポイントの形状もなかなか好ましく、特に運転室後部に向けてグッとセリ上がった「いかり肩」スタイルをよく再現している。

お次はキハ82系。昭和30年代の国鉄特急ネットワークの主力として全国を駆け回ったあの名車のイメージをよく伝えている。

次なる新幹線300系も、今や歴史的名車の1つに数えてもいだろう。既発売の500系と700系と一緒に走らせて現代の東海道・山陽新幹線を再現するのもいい。

残るは205系 (京葉線)。特徴あるピンク色の帯はもちろん、独特の前面もしっかり再現されている。デジQトレイン第4弾ラインナップの発売は5月29日の予定。また、今夏にはデジQトレイン・ディスプレイコレクションと称して、全22種に及ぶ205系のバリエーションが玩具菓子として登場する。詳細の発表が待たれる。



JR東海・JR西日本新幹線

▲新幹線300系



※本製品は旧国鉄時代の車種をモデルに製品化したものです。

▲485系 (ポイントタイプ)



JR東日本品川化研経済

▲205系 (京葉線)



※本製品は旧国鉄時代の車種をモデルに製品化したものです。

▲キハ82系

待望の電動ポイントもいよいよ登場。

すでに試作品を紹介した電動ポイントだが、いよいよ本生産品が姿を現わした。大きさは2種類、分岐側のカーブがR176・角度45°のものとのR264・角度30°のものが用意され、もちろん右・左がある。個別に設定したIDにより、コントローラーのボタンで最大32ヶ所のポイントを選別操作できる。IDはポイントのパネルに表示されるので一目瞭然だ。開通方向もLEDで表示される。もちろん配線は一切不要。ポイントマシンの駆動電源には単4電池2本を使用する。発売は香慎の予定だ。



▲電動ポイント・R176の最終サンプル。ハイテク鉄道模型玩具の名にふさわしい外観だ。



▲今夏発売予定のデジQトレイン・ディスプレイコレクションのラインナップ。ブラインドパッケージの玩具菓子形装で、1個300円。